様式第１号（第１０条関係）

2023年度業務実績報告書

提出日 2024年1月15日

１．職名・氏名　教授・大石善隆

２．学位　　学位　博士、専門分野　農学、授与機関　京都大学、授与年　2007年3月

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 導入ゼミ（１）　１年生
②内容・ねらい 大学生活を送るうえで重要になるスキル（レポート作成、プレゼンテーションの作成など）の向上をはかる。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 多角的に考える力を養うため、学生の間で意見を交換したり、議論したりする機会を設けた。
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 教養ゼミ（１）１年生
②内容・ねらい 自らの考えを他人にわかりやすく説明するスキルを磨くことで、論理的思考力の向上を目指す。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 主体的に考える機会を増やすため、学生自らが「探求課題」を設定する機会を設けた。
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 情報処理基礎演習（１）１年生
②内容・ねらい 大学生活で必要となる情報処理スキル（インターネットリテラシー、ワード・パワーポイント等の使い方）を磨く。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 情報処理スキルについては学生の習熟度に相違がある。そこで、それぞれの習熟度に配慮した指導を行った。
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 コケの世界（２）１・２・３年生

②内容・ねらい
コケを一つの視点として、隣接する学問領域への知見を深める。また、身近な生物から自然や文化、環境問題を捉える感性を育む。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
学生自身がコケに触れる機会をつくるなどして、講義内容への興味や理解を深める工夫をした。

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
学術ゼミ（環境学Ｅ・F）２・３・４年生

②内容・ねらい
身近な自然・環境を題材にして、環境問題を新たな視点で捉えられるようになる。
レポート作成やディベート力など、アカデミックスキルを磨く。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
学生が主体的に取り組む課題を設定し、講義への積極的な関わりを増やすよう心掛けた。

(2)その他の教育活動

内容

４．研究業績

(1)研究業績の公表

① 著書

【0 本】

②学術論文（査読あり）

＊1. **Oishi, Y.** (2023) Seasonal differences in nitrogen deposition affect nitrogen content in mosses: Implications for biomonitoring. Environmental Nanotechnology, Monitoring & Management 20, 100783.

【1 本】

③その他論文（査読なし）

＊1. **Oishi, Y.** (2023) (Dataset) Bryophytes enhance nitrogen content in decaying wood via biological interactions bryophytes enhance nitrogen content in decaying wood via biological. Dryad. https://doi.org/10.5061/dryad.44j0zpcjn

【1 本】

④学会発表等

＊1. **大石善隆.** 森林生態系におけるコケ・地衣類の窒素プール機能．日本生態学会第 70 回全国大会（2023 年 3 月 18 日）

【1 件】

⑤ その他の公表実績

メディア等への出演・協力

テレビ

2023 年 7 月 7 日　京コトはじめ「わびさびの美　古都の苔文化」．NHK 総合

2023 年 7 月 12 日 なんだー？ワンダー？「気軽に楽しめる夏の涼　コケの特集」．福井放送

新聞

2023 年 6 月 17 日　三千院のわらべ地蔵．朝日新聞夕刊

2023 年 9 月 26 日　京の苔庭　酷暑がむしばむ．朝日新聞夕刊

【4 件】

(2)科研費等の競争的資金獲得実績

【学外】基盤研究 C（代表）生態系におけるコケの窒素プール機能の評価：窒素負荷が増大すると何が起こるのか？

(3)特許等取得

(4)学会活動等

2022–2023 年 編集幹事（日本蘚苔類学会）

2022–2023 年 編集委員（日本緑化工学会）

５．地域・社会貢献活動

①国・地方公共団体等の委員会・審議会
2015–現在　希少野生動植物種保存推進員（環境省）
2020–現在　コケ保全に関するプラットフォーム・有識者（京都府）

②国・地方公共団体等の調査受託等
2016–現在　宮内庁庭園（桂離宮・大宮仙洞御所庭園など）のコケ地整備指導（宮内庁）
2021–現在　コケ庭のモニタリング調査（京都府）

⑥公開講座、オープンカレッジなど

６．大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
情報教育・DX 委員会 遺伝子組換え実験安全委員会 予算委員会（学術教養センター内）
(3)学内行事への参加
(4)その他、自発的活動など